

体育・スポーツ科学学会活動報告（2014年度）

特定非営利活動法人NSCAジャパン ストレンクス&コンディショニングカンファレンス2014

- 日 程：2014年12月6日(土)・7日(日)
- 会 場：国士舘大学(東京都世田谷区世田谷4-28-1)
- CEU(カテゴリー A)：両日参加/2.0 6日のみ参加/1.0 7日のみ参加/1.0
- 特別後援：学校法人国士舘大学 ■協力：国士舘大学体育・スポーツ科学学会
- 後 援：健康日本21推進連絡協議会、NPO法人日本健康運動指導士会、公益社団法人日本フィットネス協会、公益財団法人体力づくり指導協会、NPO法人日本SAQ協会

◆ 12月6日(土)

	中央図書館 B1階 多目的ホール		5号館 5304教室	
	講演1-1 A		講演1-1 B	
12:00 ~ 13:30	野球のジュニア選手に対するS&Cからのアプローチと注意点 金崎泰英(CSCS, 東北AD)		ヒト複合関節動作の神経-筋制御システム 山内潤一郎(首都大学東京)	
	講演1-2 A		講演1-2 B	
13:50 ~ 15:20	様々な競技アスリートにおける オリンピックリフティングを核とした レジスタンストレーニングのプログラムデザイン Bob Takano (CSCS, TAKANO ATHLETICS)		ロコモティブシンドロームとその対策 中村格子(CSCS, Dr.KAKUKOスポーツクリニック)	
	5号館 5302教室	5号館 5303教室	5号館 5306教室	5号館 5301教室
15:40 ~ 17:40	S&C分科会	パーソナルトレーニング分科会	SIG (Special Interest Group)	実践・研究 口頭発表
18:00 ~ 20:00	1号館 学生食堂 懇親会 ※事前のお申し込みが必要です			

◆ 12月7日(日)

	中央図書館 B1階 多目的ホール	メイプルセンチュリーホール 3階 アリーナ
	講演2-1	実技2-1A
10:00 ~ 11:30	Tabata protocolとはなにか? 田畑 泉(立命館大学)	様々な競技アスリートに対する オリンピックリフティング指導の実例 Bob Takano (CSCS, TAKANO ATHLETICS)
	講演2-2	実技2-2A
11:50 ~ 13:20	介護予防のための運動指導に行動科学を活かす 岡 浩一朗(早稲田大学)	ジュニア野球選手における傷害予防と パフォーマンス向上のためのフィジカルトレーニング David Szymanski (CSCS'D, RSCC'E, FNCSA, NSCA理事)
13:20 ~ 14:30	メイプルセンチュリーホール 1階 学生ラウンジ ポスター発表	
	中央図書館 B1階 多目的ホール	メイプルセンチュリーホール 3階 アリーナ
14:30 ~ 16:00	講演2-3	実技2-3A
	科学的知見に基づくS&C指導 河森直紀(CSCS, 国立スポーツ科学センター)	ショルダーモビリティのスクリーニング方法と改善アプローチ ~肩関節、胸椎の可動域改善プログラム~ 小松清隆(CSCS, アメリカンクラブ)

NSCA ジャパン S&Cカンファレンス2013開催

12月7日（土）、8日（日）の2日間にわたり、NSCA ジャパンS&Cカンファレンス2013を開催いたしました。

当日は500名近くの参加者の方にご来場いただき、大変盛況となりました。
カンファレンスの模様を、写真を中心にご紹介いたします。

今回のカンファレンスは、NSCA ジャパン認定校である京都文教短期大学で開催しました。



○○○ 1 日目 ○○○

伊坂忠夫 氏（立命館大学教授）による

『パワー向上のためのトレーニングとバイオメカニクス』

※立命館大学関連のブログでもカンファレンスのご紹介をいただきました。

<http://www.ritsumei.jp/blog/spas/>



荒牧友宏 氏 (CSCS*D, NSCA-CPT*D, 関西 AD, Training Company Real Strength 代表) による
『自体重や様々な器具を用いた (サーキット) トレーニング』



大地 智 氏 (MA, CSCS, NSCA-CPT, RSCC*D, Coach-Practitioner, 全米テニス協会ヘッドS&C
コーチ) による
『世界のトップに立つためのテニス選手のストレングス&コンディショニング』



花本祐真 氏 (CSCS*D, 認定検定員, 東海 AD) による
『ウエイトリフティングをスポーツパフォーマンスに活かす』



『座談会：ジュニア指導の現状と今後の展望』

司会：柴田真志 氏（NSCA-CPT*D, NSCA ジャパン副理事長, 兵庫県立大学教授）

パネリスト：大地 智 氏、金崎泰英 氏（CSCS, 東北AD, ジャイアンツアカデミーコーチ）、葛原憲治 氏（CSCS, 愛知東邦大学教授）



『分科会』

◆ストレンクス&コンディショニング分科会

テーマ「中高生を中心とした部活学生へのトレーニング指導」

座長：岡田千詠子 氏（NSCA-CPT, 認定検定員, 東海AAD）

◆パーソナルトレーニング分科会

テーマ「パーソナルトレーナーとして食べていくためには」

座長：浅見 誠 氏（CSCS, NSCA-CPT, 東海AAD）

『SIG：Special Interest Group』

テーマ「ラケットスポーツに関するスポーツ医科学とS&C」

座長：米澤和洋 氏（CSCS*D, NSCA-CPT*D, 認定検定員, 中四国AD, 株式会社ATHER）

『実践・研究 口頭発表』



『懇親会』

今年は200名近くの方が参加し、交流を深めました。



◎◎◎2日目◎◎◎

長谷川 伸 氏（九州共立大学准教授）による

『野球のバイオメカニクス的研究と大学野球における指導現場の実際』



井上伸次 氏（CSCS）による

『トレーニングロープセミナー【体幹からのダイナミックエクササイズ】』：株式会社ザオパによる協賛セミナー



大地 智 氏 (MA, CSCS, NSCA-CPT, RSCC*D, Coach-Practitioner, 全米テニス協会ヘッドS&C
コーチ) による

『テニス選手のためのストレングス&コンディショニング』



生田晶子 氏 (NSCA-CPT*D, 中四国AAD, 竜操整形外科病院) による

『高齢者のコンディショニングトレーニング～整形疾患を有している高齢者に対するパーソナル
トレーニングの考え方 (紹介) ～』



田川武弘 氏 (株式会社アシックス・スポーツ工学研究所機能研究部部长) による

『ランニング能力の測定とそのトレーニング』



油谷浩之 氏 (CSCS, NSCA-CPT) による

『世界で話題！ ViPRを使用したトレーニング実践』：株式会社ブラボーグループによる協賛セミナー



トラビス ジョンソン 氏 (CSCS, PhD, Gray Institute/FAFS)、谷 佳織 氏 (Gray Institute/FAFS, ACSM/HFS) による

『チェーンリアクションバイオメカニクス® 身体の繋がりを感ずる』：株式会社Kinetikosによる協賛セミナー



豊田太郎 氏 (独立行政法人日本スポーツ振興センター) による

『ジュニアのためのコーディネーショントレーニング～アスリートの長期一貫性指導～』



中務正幸氏（NATA-ATC, ジム&スタジオ NeedS）による

『野球選手の傷害予防とパフォーマンス向上のためのトレーニング～傷害やパフォーマンス低下の原因となる動きの評価と改善エクササイズ～』



【ポスター発表】

一般、学生部門あわせて15演題の応募をいただきました。参加者の方にご投票いただき、最優秀賞を選定いたします（受賞者は後日公開します）。

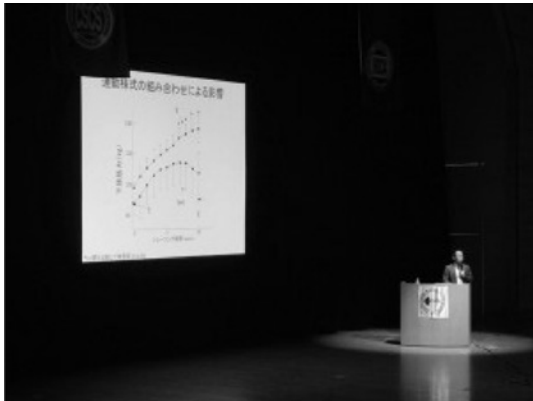


株式会社GLABによるオープンセミナー

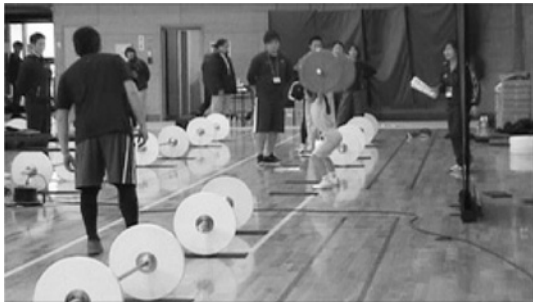
『究極のコアを作る・・・リアライン・トレーニング』



藤田 聡 氏 (CSCS, 立命館大学教授) による
『サルコペニアと運動・栄養による予防策』



永友史子 氏 (東京都ウエトリフティング協会理事、ジュニア育成女子担当コーチ)、上坂忠正
氏 (株式会社ウエサカ ティー・イー) による
『こどもに教えるレジスタンストレーニング (能力開発と測定技術)』: 株式会社ウエサカ ティー・
イーによる協賛セミナー



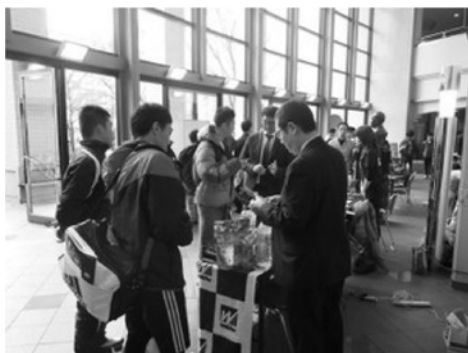
佐藤寿樹 氏 (NSCA-CPT, スポーツジム nextop代表) による
『ウェーブストレッチによる身体のケアとパフォーマンス向上』: 有限会社MAKIスポーツによる
協賛セミナー



田中 淳 氏（CSCS*D, NSCA-CPT*D, 認定検定員, 甲信越AAD, 新潟経営大学准教授）による『高校・大学生年代におけるサッカー選手のためのフィジカルコンディショニング』



今年度のカンファレンスでは、協賛ブースとして、森永製菓株式会社ウイダー事業本部、株式会社ウエサカ ティー・イー、有限会社オールフォア、Kinetikos、株式会社ザオバ、株式会社サタケ、サンテプラス株式会社、株式会社GLAB、株式会社ブラボーグループ、株式会社プロティア・ジャパン、有限会社MAKIスポーツ、有限会社ラウンドフラットの12社様（敬称略）にご出展いただきました。



ファウンディングスポンサーである森永製菓株式会社ウイダー事業本部様からは、ウイダーエナジーウォーターキープ、ウイダー in バープロテイン（ベイクドチョコ）をそれぞれご提供いただきました。また、株式会社サタケ様からはGABA米を使ったおむすびもご提供いただきました。





最後に、会場をご提供いただきました京都文教短期大学の関係者様、また、当日ご協力いただきましたボランティアスタッフやアルバイトスタッフの皆様のおかげで、大きな問題もなくカンファレンスを開催することができました。すべての関係者の皆様に改めて心から御礼申し上げます。

